

72

35 F 52

日本国政府

實用新案公報

實用新案出願公告
昭26-1096

公告 昭 26.2.9 出願 昭 24.8.2 實願 昭 24-11916
出願人 考案者 古 茶 野 治 東京都荒川区尾久町2の869

せんべい焼成機

図面の略解

第1図本案の一部を切截せる正面図、第2図本案の一部を切截せる平面図

實用新案の性質、作用及效果の要領

本案は図面に示す如く七輪17を載置する様にした機枠の支柱15、16、16に七輪の上方に面して熱板14を又此の上部に頂板11をそれぞれ取着け支持筒7の下壁を頂板11に貫通せるボルトに螺入した切缺を有するナット8の該切缺に係合して止着し、下端に壓板12を有するラフタ2を支持筒7及頂板11に貫通せしめ支持筒7に軸9着せる扇形歯輪1を前記ラフタ2に啮合せしめ且つ該軸9に抵着せるレバー3と扇形歯輪1の要部とを軸10着すると共にレバー3の先端に加重錘5を設けて成るせんべい焼成機の構造に係るものなり12は焼成するせんべいの合せ型、4はレバー3の一端に附けられた取付穴、5は連結索。

本案は右記の構造を有するから七輪17に依て加熱された熱板14上に於て加熱された合せ型12の中に穀料其他の原料を入れ、レバー3の一端の連結穴4に連結された連結索5に連なる踏板を踏むとレバー3を下方に引張りレバー3に固定された扇形歯輪1をラフタ2を下方に押し其の下部に取付られた壓板12に依て合せ型12は加壓される。

踏板より足を離す瞬間加重錘5の重力に依りレバー3が上りレバー3に止着された扇形歯輪1に依りラフタ2を上昇させ壓板12の加壓力を一氣に減壓する事に依りせんべいを焼成する。斯の如く本案に於ては、ラフタ及歯子應用に依りせんべい焼成の勞力を減じ切缺を有するナット8をゆるめる事に依り支持筒7を廻轉させレバー3の位置を自在に變換して使用者の任意好所なる位置姿勢を可能にする等の效果を有する。

全機請求の範圍

図面に示す如く七輪17を載置する様にした機枠の支柱15、16、16に七輪の上方に面して熱板14を又此の上部に頂板11をそれぞれ取着け支持筒7の下壁を頂板11に貫通せるボルトに螺入した切缺を有するナット8の該切缺に係合して止着し、下端に壓板12を有するラフタ2を支持筒7及頂板11に貫通せしめ支持筒7に軸9着せる扇形歯輪1を前記ラフタ2に啮合せしめ且つ該軸9に抵着せるレバー3と扇形歯輪1の要部とを軸10着すると共にレバー3の先端には加重錘5を設けて成るせんべい焼成機の構造。

第2圖

